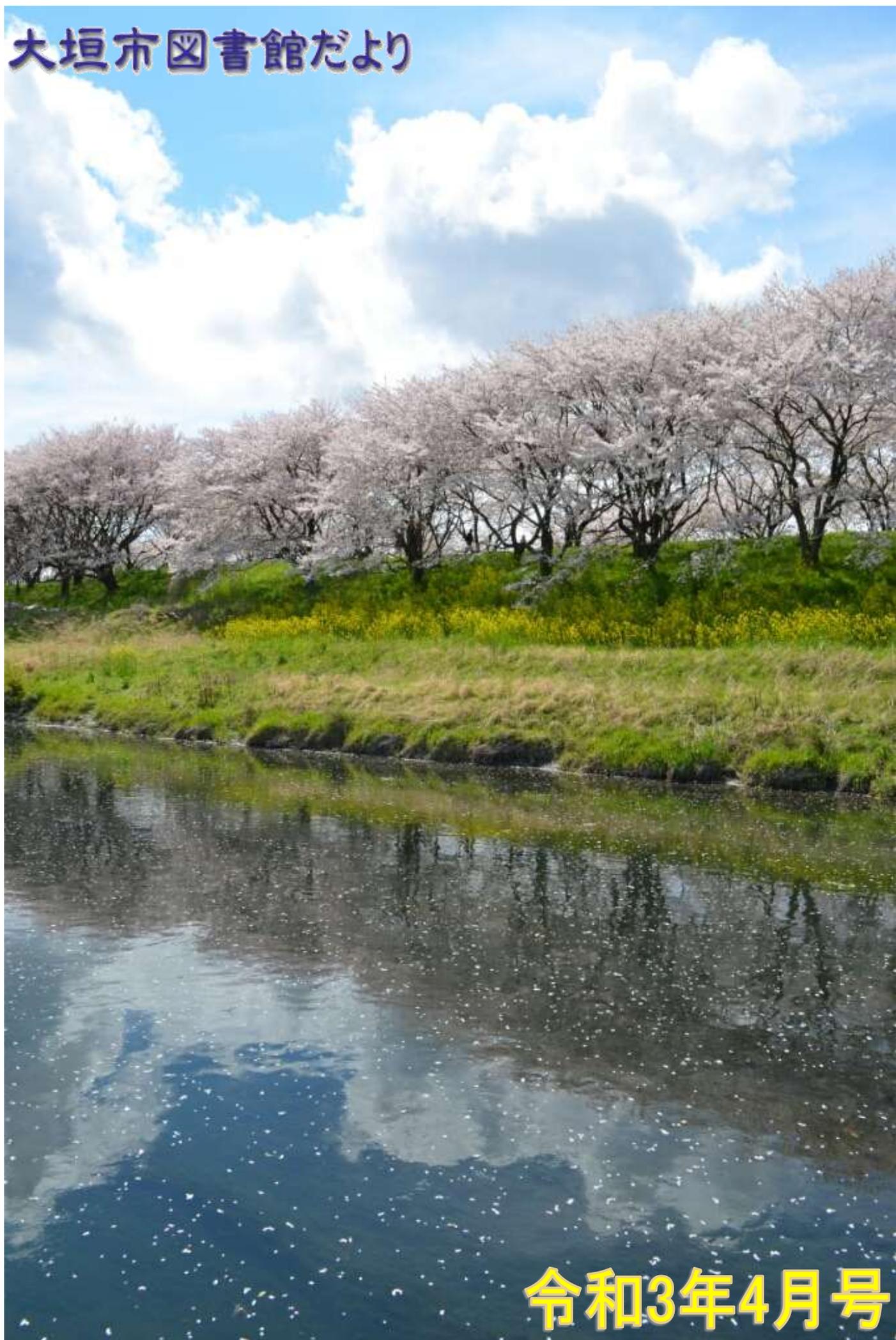


大垣市図書館だより



令和3年4月号

大型絵本を ご寄贈いただきました



「公益財団法人 だいしん緑化文化振興財団」様は、社会教育に関し助成を行い、併せて芸術文化の振興発展に寄与することを目的に、地方公共団体等を通じた図書等の寄贈などの活動を行われております。

この度、子どもの読書活動の推進のため、上石津図書館と墨俣図書館に大型絵本をご寄贈いただきました。ご寄贈いただいた大型絵本については、図書館で行われるおはなし会で使用するほか、学校PTAの皆さまが主催して行われる読み聞かせ活動、保育園・幼稚園への団体貸出を行いますので、ぜひご利用ください。



【大垣の読めるかな地名・なるほど地名①】

なるほど地名①



『南一色町(みなみいっしきまちょう)』
「一色(いっしき)」とは、鎌倉・室町時代のことはで荘園の一種「一色田」のことをいい、一種類の年貢だけを負うという意味があります。江戸時代のころは、安八郡一色村といいました。明治時代は、安八郡南一色村、その後、安八郡北杭瀬村南一色となり、昭和三年(一九二八)に大垣市南一色町となりました。

『三津屋町(みつやちょう)』

江戸時代初めのころ、中山道に沿って南側に大垣藩が陣屋をおき、のちに幕府旗本の名取家が北側に陣屋をおき、その後、岩村藩ができ陣屋をおきました。三つの陣屋のあった「三津屋町」は明治のころは安八郡中川村北方字三津屋となり、昭和二十四年(一九四九)に大垣市三津屋町となりました。

出典：

『国史大辞典一』国史大辞典編集委員会／編

『水都大垣の地名』大垣市地名研究会・編

『新修大垣市史通史編一』大垣市・編

『新修大垣市史通史編一』は、大垣市電子図書館でも読むことができます。

